

医療行動科学 4

年次	学期	学則科目責任者
2年次	後学期	伊藤 孝訓 (歯科総合診療学)

学修目標 (GIO)	<p>医療は単に疾患だけを診るのではなく、生物・心理・社会的存在、すなわち、ひとりの人間としての患者を理解し、治療にあたる全人的医療の必要性が今日求められている。慢性疾患や生活習慣病の治療と予防、心身症、障害者、訪問診療など心理学的知識を必要とする健康問題はますます増加の一途をたどっているのが現状である。</p> <p>心理学はギリシャの哲学にさかのぼる伝統的な学問であるが、近年では実証科学として心に関する法則を得ようとしている。「心の科学」あるいは「行動の科学」と呼ばれており、人間の心や行動、対人関係などについて明らかにしようとする学問である。例えば、人間の知覚や認知、記憶や思考、感情や情動などの心的活動は言語的表現、表情やしぐさにあられ、生理反応として生じる。そのために心理学は行動科学とも称される。</p> <p>「ヒトの行動と心理」、すなわち「医療心理学」は、行動、価値観や態度といった情意領域に関して、将来の歯科医療を施行する医療人としての行動基盤とした「心理学的な見方」を習得することに目標をおいている。</p>
担当教員	伊藤 孝訓、多田 充裕、青木 伸一郎、大沢 聖子、※蝦名 直美、※佐治 量哉
教科書	講義内容に関連した資料を配布する
参考図書	「グラフィック認知心理学」 森 敏昭、井上 毅、松井孝雄 サイエンス社 「グラフィック社会心理学 (第2 版)」 池上知子、遠藤由美 サイエンス社 その他、随時紹介する。
実習器材	なし
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う平常試験 (60%)、製作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) とする。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の処置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0~60点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	より良い患者-医療者関係を構築するには、人の行動の背景心理である医療行動科学を学ぶ必要があります。その基盤となるのが心理学です。少し深く基本からそのメカニズムについて考えてみましょう。専門家の講義が含まれますので積極的に学んで下さい。 E-mail (shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/09/26 (月) 2時限 10:40~12:10	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために心理学の役割を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「医療心理学」について説明できる。 2. 人の行動と心理について説明できる。 3. 歯科医学における心理学の役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 いわゆる心理について概説できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 b 患者歯科医師関係の確立 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本</p>	伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/09/26 (月) 2時限 10:40～12:10	ガイダンス	E-1-1) 基本的診療技能 *③診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。	伊藤 孝訓
2016/10/03 (月) 2時限 10:40～12:10	認知心理	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために認知心理を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 知覚、認知について説明できる。 2. 思考、判断について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 認知の意味を概説できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *③診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	蝦名 直美
2016/10/17 (月) 2時限 10:40～12:10	学習・認知心理	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために学習・認知心理を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 記憶について説明できる。 2. 学習の動機付けについて概説できる。 3. 学習、行動変容について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 いわゆる学習の意味を概説できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。</p>	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/10/17 (月) 2時限 10:40～12:10	学習・認知心理	E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *⑩診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。	蝦名 直美
2016/10/24 (月) 2時限 10:40～12:10	社会心理	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために社会心理を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.感情、情動について説明できる。 2.欲求、動機付けについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 日本人観について概説できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 8 医療面接 ア 意義, 目的 c 患者の指導、動機付け、治療への参加 イ 面接のマナー f 感情面への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *②個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。</p>	蝦名 直美
2016/10/31 (月) 2時限 10:40～12:10	脳科学－脳機能－	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために脳科学を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.神経系の発生、分類と構造、働きについて説明できる。 2.脳科学の研究法 (非侵襲脳機能計測法) について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 脳の構造と機能を概略できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 2 機能の発達 イ 認知機能 エ 情緒・社会性 総論IX 検査 4 生体機能検査 ケ 脳波検査</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】 *⑧神経の活動電位の発生とその伝播の機序を説明できる。 *⑨シナプスにおける興奮伝達を概説できる。</p>	佐治 量哉

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/11/07 (月) 2時限 10:40～12:10	脳科学－感性－	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を实践するために情動、感情、理性と脳機能の関連を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 情動に関わる脳機能について概説できる。 2. 感情に関わる脳機能について概説できる。 3. 理性に関わる脳機能について概説できる。</p> <p>【準備学修項目】 情動、感情と理性について概説できる。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー f 感情面への対応 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 2 機能の発達 イ 認知機能 エ 情緒・社会性</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】 *⑩神経伝達物質の種類と機能を説明できる。</p>	佐治 量哉
2016/11/14 (月) 2時限 10:40～12:10	脳科学－脳の発達－	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を实践するために発達脳科学を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 脳機能の障害と心の病について概説できる。 2. 脳と心の発達について概説できる。</p> <p>【準備学修項目】 心身の発達と病気について概説できる。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 2 機能の発達 イ 認知機能 エ 情緒・社会性</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】 *⑤血液脳関門を説明できる。 *⑩神経伝達物質の種類と機能を説明できる。</p>	佐治 量哉
2016/11/21 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験1 振替日: 11月24日(木) 2時限 11:10-12:00	<p>【学修方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p>	伊藤 孝訓 青木 伸一郎
2016/11/28 (月) 2時限 10:40～12:10	パーソナリティ	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を实践するためにパーソナリティを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 性格、パーソナリティについて説明できる。 2. コミュニケーションスタイルについて説明できる。</p>	大沢 聖子 伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/11/28 (月) 2時限 10:40～12:10	パーソナリティ	<p>【準備学修項目】 性格と気質について概説できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *③診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	大沢 聖子 伊藤 孝訓
2016/12/05 (月) 2時限 10:40～12:10	ストレスと健康	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するためにストレスと健康を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 全人的医療モデルと患者の理解について説明できる。 2. ストレスが招く心の病について説明できる。 3. 患者の不安、ストレスと心理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 ストレスと心関係を概説できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 キ 心理、精神機能 総論Ⅹ 治療 10 その他の治療法 ケ 心身医学療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-5) 心因性疾患 *①心身相関を説明できる。 *②歯科心身症を説明できる。</p>	多田 充裕
2016/12/12 (月) 2時限 10:40～12:10	心理検査	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために心理検査を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ストレスについて説明できる。 2. YG心理検査、自己分析の演習ができる。</p> <p>【準備学修項目】</p>	青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/12/12 (月) 2時限 10:40～12:10	心理検査	<p>心理検査の特徴を概説できる。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 0 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-5) 心因性疾患 *④心理テストを説明できる。</p>	青木 伸一郎
2016/12/19 (月) 2時限 10:40～12:10	判断とエラー	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために判断とエラーの思考を修得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 注意について概説できる。 2. 判断にまつわるエラーの種類について説明できる。 3. 判断の心理学的背景について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 人の行為にはエラーがつきものということを概説できる。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 7 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 1 0 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 A-7 対人関係能力 A-7-2) 医療面接 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *③診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	青木 伸一郎
2017/01/16 (月) 2時限 10:40～12:10	心理とケア	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために高齢者の心理とケアを修得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 高齢者の心理について説明できる。 2. ケアの心理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 ライフサイクルによる心理傾向を概説できる。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 6 高齢者保健</p>	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/01/16 (月) 2時限 10:40～12:10	心理とケア	イ 高齢者の特性 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 6 高齢者保健 ア 現状、動向 ウ QOL <quality of life>、日常生活動作 <ADL> オ 地域支援事業 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。 *⑩摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。	蝦名 直美
2017/01/23 (月) 2時限 10:40～12:10	対人行動	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために対人行動を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 対人行動について説明できる。 2. メタ認知について説明できる。 3. コミュニケーションに関わる心理を説明できる。 4. 言語とコミュニケーションについて説明できる。 【準備学修項目】 行動を操作する心の働きの存在を概説できる。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー c 会話のマナー、言葉遣い d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション) e プライバシーの保護 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法 (言語的と非言語的) を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓
2017/01/30 (月) 2時限 10:40～12:10	会話行動を分析する	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために会話行動分析を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 医療における特異的な人間関係について説明できる。 2. 言語とメタメッセージについて説明できる。 3. 非言語コミュニケーションと心理について説明できる。 【準備学修項目】 人の行動と心理を概説できる。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー c 会話のマナー、言葉遣い d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション) e プライバシーの保護 f 感情面への対応 【コアカリキュラム】	青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/01/30 (月) 2時限 10:40～12:10	会話行動を分析する	F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。	青木 伸一郎
2017/02/06 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験 2 振替日： 2月6日(月) 2時限 11:10-12:00	【学修方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 102教室	伊藤 孝訓 青木 伸一郎